

令和5年度 自己評価と学校関係者評価

学校自己評価	意見	学校関係者評価
<p>(1)教育理念・目標 ・学校の理念・目標・育成人材像が明確に定められ、国際化する社会、企業・業界のニーズを定義できている ・時代の変化に対応する将来の構想について適宜位置づけが必要とされている</p>	<p>毎週月曜日に行われている全校生徒に向けた朝礼も、学生、教職員ともに目標を明確にする場として、効果的に機能していると感じます。</p>	<p>職員一同が教育理念・目標を共有し具体的に教育現場に活かしていくようさらさら努力していきます。</p>
<p>(2)学校運営 ・年度目標に沿って運営方針を定める事業計画を策定している ・学生生活の進路先や進路先から求められる条件と課題を明確にし、キャリア教育や海外学校・模範エージェンツとの連携はできている ・外部環境や時代の変化に対応できる組織運営を構築し、職員の育成を図ることが求められている ・シリアコンパレーン研修を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられている。 教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられている。</p>	<p>教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられている。 シリアコンパレーン研修が4年ぶりに復活したことは評価できる</p>	<p>シリアコンパレーン研修に参加した学生の成長は目を見張るものがあり、今後も続けていきたいと考えている。しかし、高い期待をもちながら取り組んでいく必要がある。不透明なところがある。</p>
<p>(3)教育活動 ・学生生活 ・学生生活の目標や企業からの要望について、時代の変化を取り入れながら活動している ・就職先や進路先から求められる条件と課題を明確にし、キャリア教育や海外学校・模範エージェンツとの連携はできている ・社会人として生きていくための生活態度や行動規範について学生生活や宿舎生活においても指導している ・留学生については日本社会に馴染めるよう、日常生活に教員がサポートしている ・進路先での技術・学力評価、人物評価を判定した目標を達成することを教員が心がけている ・卒業生の情報を収集し、進路先での問題点を抽出している</p>	<p>各企業が新人社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要がある。学校にはそのための準備ができていない。仕事ができる一歩先が欲しいという声も出てきている。また、卒業生が就職先で活躍している様子も、進路先での技術・学力評価、人物評価を判定した目標を達成することを教員が心がけている</p>	<p>コロナ以前で定めていたことができていない部分がある。1期の挨拶活動を行い、アロパロパ的なところから改善していき、また、学生数増加に伴い、朝礼にまで教育は行き届いていない部分もある。今後強化していく。</p>
<p>(4)学習成果 ・資格対策やものづくりの向上については一定の成果をあげているが、より実践的な技術を磨くことを課題としている。また、キャリア教育の面で課題を整理している ・日本語能力試験対策においても一定の成果をあげている</p>	<p>1年次での基礎学力強化と資格取得を目標としていたが、その変化を学生が感じ取る必要がある。学校にはそのための準備ができていない。仕事ができる一歩先が欲しいという声も出てきている。また、卒業生が就職先で活躍している様子も、進路先での技術・学力評価、人物評価を判定した目標を達成することを教員が心がけている</p>	<p>AI時代に対応するため、専門用語を習得する、ITスキルを習得する等の取得が必要だと考えている。それを教員が指導につなげるには今後工夫が必要。卒業生がいない原因は、学生自身の卒業生数が少ないことにある。クオアライティは気にしてはいるが、それだけでは無いことを伝えていきたい。また、</p>
<p>(5)学生生活 ・学生生活の目標や企業からの要望について、時代の変化を取り入れながら活動している ・就職先や進路先から求められる条件と課題を明確にし、キャリア教育や海外学校・模範エージェンツとの連携はできている ・社会人として生きていくための生活態度や行動規範について学生生活や宿舎生活においても指導している ・留学生については日本社会に馴染めるよう、日常生活に教員がサポートしている ・進路先での技術・学力評価、人物評価を判定した目標を達成することを教員が心がけている ・卒業生の情報を収集し、進路先での問題点を抽出している</p>	<p>就職の門は狭くなってきており、SPI等の試験系を重視し始めている。面接等の練習やプログラミング等の技術も重要だと感じるが、土台の上に技術があるのではまず基礎を大切にしてほしい。</p>	<p>就職の門は狭くなってきており、SPI等の試験系を重視し始めている。面接等の練習やプログラミング等の技術も重要だと感じるが、土台の上に技術があるのではまず基礎を大切にしてほしい。</p>
<p>(6)施設・設備 ・施設・設備についての課題を抽出し、解決に向け改善着手している ・計画に基づいて防災対策を整備している ・専攻の講師増員</p>	<p>学生数増加に伴い、専攻講師を増員したことは評価できる。学生の理解度は人それぞれなのでできる限りのサポートを行ってほしい。</p>	<p>引越越し学生を第一に考え、特別に合わせた対応を行っていきたく思います。今後はeopletのために学PPOをwindows11への入れ替えを検討しています。</p>
<p>(7)学生の受け入れ態勢 ・自習に併せて個別レールに併せて活動している ・卒業生が活躍するよう情報発信している。また効果的な情報発信ができるよう工夫している ・留学生については、現地調査と家庭訪問により経済的課題などを確認し、入国審査に対応できるようになっている</p>	<p>オープンキャンパスを年間3回以上も開催されており、またそれ以外の卒業生がインターンで、入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じます。また、学校ホームページやSNS等で学生生活等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。</p>	<p>入学希望者に対してよりわかりやすく本校の魅力や成長を伝える為、SNSで発信していく努力をしています。また、本学ホームページのリニューアルを行いました。</p>
<p>(8)財務 ・新校舎を竣工 ・アサイン・コンビュータ名学科は昨年比で入学希望者が減少 ・日本産科は新型コロナウイルスの影響も少なくなり、入学学生数が改善</p>	<p>新校舎ができて学生はより勉学に集中できるのではないかと、新校舎の評判はどうでしょうか。</p>	<p>教務での教育はもろもろ、学生ホールでの自習でも集中して勉強ができるようです。このままの姿をより高めたい。教職員一同努力していきます。また、大学との兼ね合いからアサイン・コンビュータ名学科は入学希望者が減少しました。学生募集により力を入れていきます。</p>
<p>(9)法令等の遵守 ・平成25年度より自己評価を実施し公開している ・留学生の受け入れ、生活支援において在籍管理を徹底している。また、犯罪や不法滞在を未然に防ぐべく、警察との情報交換を定期的に変更している</p>	<p>留学生に限らず、法令遵守や社会生活のマナー等については、専用に時間を設けるなど、よく取り組んでいると感じます。引き続き、継続して取り組んで下さい。</p>	<p>学校側は狭い道が多いため、自習室を多く確保して留学生に活用していただくよう、地元のアパレル企業とも連携し、講習会を開催して周知していき、事故トラブルが無く、よく取り組んでいると感じます。</p>
<p>(10)社会貢献・地域貢献 ・学生が地域の各団体の活動に参加し、イベントのサポートを実施している ・卒業生の各団体の活動、ボランティア活動などを実施している ・日本産科の各団体の活動、ボランティア活動などを実施している ・日本産科の各団体の活動、ボランティア活動などを実施している ・ウクライナ避難支援として日本産科にて学生を支援している</p>	<p>地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会もまだまだ多く、周辺地域の方々に学生の姿を見ていただくため、大切にしているのが学内だけでなく、学外のことを知っていただくための良い機会であり、継続して行ってほしい。ウクライナ学生支援基金については国内外にも影響を及ぼす活動に貢献していただきたい。</p>	<p>出来る事に参加し継続して、学外での活動を積極的に行い、人間関係を築いていきます。ウクライナ避難支援活動を行い、学生支援に取組んでいきます。応援をお願いします。</p>